

- S I P 第2期（2018～2022年度）では、「自動運転（システムとサービスの拡張）」、「スマートバイオ産業・農業基盤技術」、「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」において、**準天頂衛星の測位機能やメッセージ通信機能を活用して、研究開発を実施。**

自動運転 （システムとサービスの拡張）

東京臨海部における自動運転技術の実証実験において、自動車の自己位置把握のために、高精度地図や車載センサー等と組み合わせて、準天頂衛星等の測位機能を活用する。



自動運転実証のイメージ

スマートバイオ産業・ 農業基盤技術

農業の生産性向上に向けた自動収穫・運搬機械の開発において、収穫機の自己位置把握のために準天頂衛星等の測位機能を活用する。



自動収穫・運搬機械のイメージ

国家レジリエンス （防災・減災）の強化

災害時の通信途絶地帯において、市民の避難誘導を行う情報システムを構築するために準天頂衛星のメッセージ通信機能を活用する。



災害情報提供のイメージ